

2. 火山の概況

(平成 17 年 2 月 10 日 ~ 平成 17 年 2 月 16 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では噴煙活動が継続し、火映が時々観測された。火山活動度レベル (以下レベルと記載) は 3。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは 2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。御鉢のレベルは 2、新燃岳のレベルは 1。

口永良部島では地震がやや多く発生した。レベルは 2。



図 1 各火山の今期間の火山活動度レベル及び記事を掲載した火山 (火山名に下線)

| 号 | 対象期間 | 雌阿寒岳 | 十勝岳 | 樽前山 | 吾妻山 | 草津白根山 | 浅間山 | 伊豆大島 | 三宅島 | 福徳岡ノ場 | 九重山 | 阿蘇山 | 雲仙岳 | 霧島山 | 桜島 | 薩摩硫黄島 | 口永良部島 | 諏訪之瀬島 | |
|---|-----------|------|-----|-----|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|----|-------|-------|-------|---|
| 7 | 2/10-2/16 | ● | ● | ● | | | ● | | | | | ● | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ● | ◇ | |
| 6 | 2/3-2/9 | ● | ● | ● | | | ● | | ● | | | ● | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ● | ◆ | |
| 5 | 1/27-2/2 | ● | ● | ● | ◇ | ◇ | ● | | ● | ● | ◇ | ● | | ● | ◆ | ◇ | ● | ▲ | |
| 4 | 1/20-1/26 | ● | ● | ● | | | ● | ◇ | ● | | | ● | ◇ | ● | ▲ | | | ● | ◆ |
| 3 | 1/13-1/19 | ● | ● | ● | | | ● | ◇ | ● | | | ● | ◇ | ● | ◇ | | | ● | ▲ |

| 号 | 吾妻山 | 草津白根山 | 浅間山 | 伊豆大島 | 九重山 | 阿蘇山 | 雲仙岳 | 霧島山 (新燃岳) | 霧島山 (御鉢) | 桜島 | 薩摩硫黄島 | 口永良部島 | 諏訪之瀬島 |
|---|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|-----------|----------|----|-------|-------|-------|
| 7 | ① | ① | ③ | ① | ① | ② | ① | ① | ② | ② | ② | ② | ③ |
| 6 | ① | ① | ③ | ① | ① | ② | ① | ① | ② | ② | ② | ② | ③ |
| 5 | ① | ① | ③ | ① | ① | ② | ① | ① | ② | ② | ② | ② | ③ |
| 4 | | | ③ | ① | | ② | ① | | | ② | | | |
| 3 | | | ③ | ① | | ② | ① | | | ② | | | |

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山 (左) 及び各火山のレベル

注 1 記号の意味

- ▲ : 噴火した火山 ● : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
- ◆ : 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山 ◇ : その他記事を掲載した火山
- : 記事を掲載していないレベル対象火山 ①②等の丸付き数字 : 火山活動度レベル

注 2 記事は、▲、●及び◆ (注 1 参照) に該当する火山及びレベル 2 以上の火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

注 3 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200m で推移した。

● 樽前山 [熱]

A火口およびB噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 浅間山 [噴煙・火映・地震・微動] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約 500mまで上がった。火映が 12～16 日に山麓の高感度カメラで観測された。

火山性地震は 1 日当たり 60～76 回、火山性微動は 0～3 回観測された。

● 三宅島 [噴煙]

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約 700mまで上がった。火山性地震は 1 日あたり 0～9 回と少ない状態であった。

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動・地震] レベル2 (やや活発な火山活動)

14 日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、量は約 4 割で、表面温度は 71℃と高い状態であった（前期間は 74℃）。湯だまりの南西側で高さ約 1～2 m の土砂噴出が観測され、土砂噴出の周囲は火口底が露出していた。湯だまりの中央部は噴煙が多く土砂噴出の状況は不明であった。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約 500m（前期間 300m）であった。

孤立型微動の発生回数は 435 回であった（前期間は 521 回）。火山性微動の発生はなかった（前期間もなし）。火山性地震が 11 日にやや多く発生した。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気] 御鉢：レベル2 (やや活発な火山活動)・新燃岳：レベル1 (静穏な火山活動)

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、11～13 日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上約 100mであった。

◇ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火はなかった（前期間もなし）。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台（南岳の西南西約 11km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

◇ 薩摩硫黄島 レベル2 (やや活発な火山活動)

地震活動、噴煙活動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 口永良部島 [地震・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

火山性地震は、日回数に増減があるものの今期間もやや多い状態が続き、期間中の回数は 82 回であった（前期間は 33 回）。火山性微動は、継続時間の短いものが時々発生し、期間中の回数は 16 回であった（前期間は 7 回）。監視カメラ（新岳の北西約 4 km に設置）による観測では、新岳及び古岳の噴気活動に変化はなかった。

◇ 諏訪之瀬島 レベル3 (小規模な噴火が発生かその可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。地震活動、噴煙活動等の観測データにも特段の変化はなかった。

表 2 火山情報発表状況

| 火山名 | 情報の種類及び号数 | 発表日時 | 概要 |
|-------|---|-------------------------------|---|
| 浅間山 | 火山観測情報第 41 号 ↓ (1 日 1 回発表) 火山観測情報第 47 号 | 10 日 16:00 ↓ 16 日 16:00 | 前日及び当日 00 時～15 時の活動状況 (噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想)。レベルは 3。 |
| 三宅島 | 火山観測情報第 78 号 ↓ (1 日 2 回発表) 火山観測情報第 91 号 | 10 日 09:30 ↓ 16 日 16:30 | 活動経過ほか (噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。 |
| 阿蘇山 | 火山観測情報第 6 号 | 10 日 11:00 | 火山活動は引き続きやや活発 (湯だまりの表面温度高い、小規模な土砂噴出発生、地震やや多い)。レベルは 2。 |
| 口永良部島 | 火山観測情報第 8 号 | 10 日 15:00 | やや活発な火山活動継続。レベルは 2。 |